

科目ナンバー	LIN-3-005-e			科目名	教育言語学I		
教員名	小林 恵美			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	日常生活における言語に関する様々な問題に寄与するべく、言語知識、言語使用、言語習得を考察していく。応用言語学は、学際的で研究内容が多岐に渡る分野であるが、本講義では特に第二言語（外国語を含む）の教育や学習に焦点を当て、言語の科学的研究がいかに私たちの実践や経験の理解を深めてくれるのかを検討していく。						
到達目標	本講義は、心理言語学、社会言語学、談話分析、異文化コミュニケーションといった幅広い分野の関連研究を概観し、応用言語学の基盤となるような概念や理論を紹介することを目的とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	グループ発表及び講義を中心に実施。内容理解を促す目的で、グループやペアでの話し合いも実施。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	「言語学I & II」の単位を取得済みか「言語学I」を同時履修することが望ましい。 英語で書かれた教科書を使用するため、意欲的に読んでいける者。 グループワークに積極的に取り組み建設的な議論を行おうとする姿勢のある者。						
アセスメントポリシー及び評価方法	予習（10％）、復習発表（20％）、内省文（20％）、中間テスト（20％）、期末レポート（20％）、ポスター発表（10％）						
教材	Silver, R. E., & Lwin, S. M. (Eds.) (2014). Language in education: Social implications. London, UK: Bloomsbury.						
参考図書	Carter, R., & Nunan, D. (Eds). (2001). Teaching English to speakers of other languages. Cambridge: Cambridge University Press. 白井泰弘（2013）『ことばの力学：応用言語学への招待』岩波書店 米山朝二（2003）『英語教育指導法事典』研究社						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	教育における言語の役割						
授業外学修内容	復習、テキスト予習					時間数	2
2週目							
授業学修内容	言語の性質：二重性、超越性、恣意性						
授業外学修内容	復習、テキスト予習					時間数	2
3週目							
授業学修内容	Foreign Language Learning, Second Language Learning						
授業外学修内容	復習、テキスト予習					時間数	2
4週目							
授業学修内容	教授言語の役割、Language Awareness						
授業外学修内容	復習、テキスト予習					時間数	2
5週目							
	意味について：テキストとディスコース、一貫性、結束性						

授業学修内容			
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
6週目			
授業学修内容	テキストの分類、話ことばと書きことば、言語使用の分析		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
7週目			
授業学修内容	協調の原理、スピーチアクト、レジスター		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
8週目			
授業学修内容	中間テスト、ジャンル、ことばの力学		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
9週目			
授業学修内容	ことばの変種：地域的変種、スタンダード方言		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
10週目			
授業学修内容	社会的変種		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
11週目			
授業学修内容	アイデンティティ：コードスイッチイング		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
12週目			
授業学修内容	話ことばと書きことば：要素		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
13週目			
授業学修内容	話ことばと書きことばの関係、話ことばと書きことばの習得、子供の言語習得		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
14週目			
授業学修内容	家庭での言語実践がもたらす影響、足場かけ、リテラシー能力の育成		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
15週目			
授業学修内容	ポスター発表		
授業外学修内容	復習、テキスト予習	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		30	
その他に必要な自習時間		60	

Number	LIN-3-005-e	Subject	Educational Linguistics I		
Name	小林 恵美 (Kobayashi Emi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2

Course	In this course, we will focus on the role of language in education and think about how classroom practices and communication are shaped by language/discourses. We will consider how different sub-areas of linguistics, such as psycholinguistics, sociolinguistics, discourse analysis, intercultural communication can inform our understanding of learning and teaching processes.
Outline	